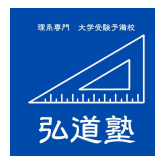


大学受験ガイドブック 志望理由書の書き方



理系専門 大学受験予備校 弘道塾
TEL : 050-3199-1755

志望理由書への道

推薦入試で多くの大学が必要書類に挙げている「志望理由書」。志望理由書とひとえに言っても求められる時数や人物像は大学・学部・学科により様々です。必ず大学案内や募集要項を熟読し、下調べを入念にしましょう。

■Step1.

●自分自身を徹底的に分析しましょう

自分自身がどんな考えを持っていて、今までどのように生活してきたかを知ることによって大学に対して効果的に自分をアピールできます。適性・意欲・熱意・能力・過去の経歴や実績など、多角的に自分を徹底分析しましょう。

<具体的な方法>

高校三年間までの自分の経歴と印象に残っている出来事、興味のあることとその理由、自分の長所・短所、自分が大切にしている考え方とその理由、影響が大きかった出来事・人物とその理由、得意科目・不得意科目とその理由、**進学する理由**、**学部に興味を持ったきっかけ**など掘り下げて考えてみましょう。

志望理由見本

- A：私は昔から医者になりたいと思っていました。特に医師不足が問題になっている小児医療に興味があります。将来は小児科医になり、社会に貢献したいと思います。
- B：私が医者になりたいと思ったのは、末期がんになった祖母の入院がきっかけでした。すでに根治は不可能な状況であるのにも関わらず、延命治療のためにひどく苦しむ祖母を見て、終末医療のあり方について疑問を持つようになりました。その後、病院見学に参加したり、自分でいろいろと調べたりするうちに、患者自身が自らの最期をどう迎えるかを決める“尊厳死”というものに強く興味を持つようになりました。そして、将来は祖母のような末期患者の苦しみを少しでも和らげることができるような医者になりたいと思っています。

■Step2.

●大学を徹底的に分析しましょう

大学のパンフレットのほかオープンキャンパスを積極的に活用しましょう。ありとあらゆる情報集めをすることがポイントです。特に**大学の建学理念**や「求める人物像」を示すアドミッションポリシーは必ずチェックが必要です。

<具体的な方法>

志望大学の建学理念については自分なりに考え、その姿勢をアピールする。ほかの大学の志望理由にはならないような内容を考えましょう。

志望理由見本

A：私は『社会に貢献できる人材を育てる』という貴学の建学理念に大変感銘を受け、ぜひ貴学で学びたいと考えています。

B：私は『社会に貢献できる人材を育てる』という貴学の建学理念を大変すばらしいと思っております。そこで『社会に貢献する』ということをも自分の死亡している建築分野において考えてみました。私は工学部建築学科で学び、将来はユニバーサルデザインを取り入れた建物を設計し、子供からお年寄りまで全ての人が快適に感じることができる場所をたくさん作っていきたいと考えております。

■Step3.

●書きたいポイントを絞りましょう

自己分析と大学分析ができて、その全てを志望理由書に書くことはできません。自分と志望大学がどのように結びつくのか整理をして最もアピールしたいことに焦点を当てて文章を作りましょう。たくさんのポイントを詰め込んだ志望理由書は読み手にインパクトを与えることもできませんし、言いたいことが十分に伝わらないこともあります。

<具体的な方法>

パンフレットやホームページに書かれている言葉をそのまま使うのは禁物です。自分で考えた言葉、自分が感じたことでなければ説得力が増しません。そのためにはできるだけ具体的に書くようにしましょう。『何が』『なぜ』『どのように』と物事を分析し考える習慣をつけて自分の言葉でわかりやすくアピールしましょう。

志望理由見本

A：私は貴学のオープンキャンパスに参加し、とても色々な面で充実していると思いました。また、キャンパスがとても広く、就職や留学のサポートが手厚いことも魅力だと思います。

B：私は貴学を見学し、『アットホームな大学』であるという印象を持ちました。オープンキャンパスの模擬授業では初対面の人と積極的に意見を交わすことができ、少人数ゼミの良さを感じることができました。また、私がキャンパス内で迷ってしまった際も学生さんがすぐ声をかけてくれて助けてくださいました。ほかの大学も、もちろん見学をしたのですが、このようなアットホームな大学は貴学だけであると思いました。

■ 注意点

● 意欲はストレートに。誇張しすぎないようにしましょう

意欲を一生懸命アピールしようと大げさな表現を使ったり、知識があるように見せようと無理をするのは禁物です。真実味がなくマイナスになってしまいます。自分の素直な気持ちでストレートに意欲を伝えましょう。読み手の先生方は『完成されている受験生』を見たいわけではありません。高校生らしい今の皆さん、素直に知識・技術を吸収できる素質を持つ人、将来性がある人を評価するということを忘れないようにしてください。

志望理由見本

A：AI/DXの急速な進展が叫ばれる現代において『情報工学における日本のポジションはいかなるものだろうか』と私は常々考えています。この分野で世界のトップリーダーとして日本が躍り出るためには大学教育において、より充実した教育カリキュラムが不可欠であると考えます。そのためには、国や地方自治体、さらに民間企業の援助も必要とされれると思います。そのような状況において、私は貴学の教育体制が今の日本においては最高ではないかと感じております。

B：私が貴学の工学部を志望したのは、その教育内容に興味を持ったからです。実験や実習が他大学と比較して長く、また授業をご担当いただく先生方はそれぞれの分野において日本の研究をリードしている先生方ばかりです。私は特にコンピュータに関わる『情報工学』の分野に興味があるので、超高速ネットワークの研究で有名な林先生の『ネットワークは何故つながるのか』などの講義を特に楽しみにしています。

※ 文体を統一させましょう

【～だ・～である】か【～です・～ます】のどちらかに統一しましょう。一般的に小論文を書く際には主張をするわけなので、断定表現が好ましいとされています。志望理由書に関しては書きやすいほうを選びましょう。文体さえ統一されていればどちらを使っても問題ありません。自分の書きやすいほうを選びましょう。

志望理由書で外せない重要ポイント

『志望理由書』と『自己推薦書』など、2種類以上の作文を要求される場合はそれぞれに求められている内容が違ってくることに注意しましょう。例えば『志望理由書』は志望の理由(=動機)を書くので「将来どんなことがしたいからこの大学を志望する」という未来のことを書き、『自己推薦書』は自分のやってきたことをPR(=推薦)するので、過去のことを書くという形で内容を分けていきます。ただし大学によっては両者の内容が重なることもあるため、必ず募集要項で求められている内容を確認しましょう。

●志望動機(=将来のこと)

- ①何を学びたいのか
- ②なぜその分野に興味があるのか
- ③どうしてその大学で学びたいのか
- ④その学問を学び将来はどのような活躍をしたいか

●自己PR(=過去のこと)

- ⑤特筆すべき活動・経験・頑張ってきたことなど

<具体的な方法>(重要度は★→☆→※の順)

★とにかく抽象的な表現ではなく、具体的なエピソードを交えて書く。また、各エピソードがさりげなく**自己PR**になっていると良い

★全体的に大学が求めるアドミッションポリシーに合っているかどうか常に注意する

★いくら具体的にエピソードを書いても、単に「〇〇した」で終わってしまっただけでは意味がない。必ずそのエピソードをもとに**“そこから自分は何を学んだ・何を得たか” “それについて自分はどのように考えるのか” “今後それらをどう活かしていくのか”**ということなどをしっかり主張しなければならない。過去の経験そのものをアピールするのではなく、**過去の経験をネタにして自分の将来性をアピール**することを肝に命じておく。

☆常に**“面接で詳しく聞かれる”**ことを意識して書く。**詳しく聞かれたら困るようなことについては安易に書いてはいけない**。(知ったかぶりや嘘はダメ)

☆最初から上手く書ける必要はない。練習すれば必ず上手くなる。努力が大事

※書いた人のことを全く知らない人が読むことに注意。読んだ後**“もっと詳しくこの生徒と話してみたい”**と思ってもらえるかどうか、**自分の文章を1歩下がって読んでみる**。

※専門性の高い学部学科系統の場合、自由研究や実験のレポートを提出させる場合がある。このような場合はより**“具体性”**が重要となる。

志望理由書の添削例：中央大学 総合政策学部 国際政策文化学科
※設問・字数は例示であり、実際の要項とは異なる場合があります

志望理由書：

あなたをアピールできる事柄を踏まえて志望理由を記述してください。

私が政策学に興味を持ったのは①④数年前に東京都知事が主催されている勉強会に参加し、日本国だけでなく国際社会で起こっている様々な外交問題や政治的対立について考える機会に恵まれたからです。そんな中でも特に私が興味を惹かれたテーマがありました。それは台中問題です。これは中国と、中国からの完全な独立を目指す台湾との間に政治的な緊張状態が続いている問題ですが、現在のところ中国の軍事力が台湾制圧に足るものではないために膠着状態となっており、近い将来中国が十分な軍事力を備えたときに、まさに一触即発の状態に発展しかねない要素を孕んでいます。さらに現在までのところ、米国や日本の仲介はほとんど功を奏することなく、双方の妥協点を探るのが非常に困難な状態に陥っています。

私はこの問題を勉強していくうちに、一般的な日本人が持っているような「合理的」で「平和的」な考え方のみで単純に解決できるような問題では決していないのだと感じました。そして②この問題に限らず、国際社会における紛争や外交問題は必ず歴史的な背景、宗教的な背景、文化的な背景などが複雑に絡み合っており、問題解決を考えるためにはそのような「表面には見えてこない背景」を多面的に理解しておく必要があるのだと気付きました。

③ その点貴学の国際政策文化学科ではアジア地域における諸問題を解決するために「文化的側面」を重視しているので私が学びたい「政策学」と完全に一致しています。中でも「比較宗教論」「比較文化論」などの基幹科目はそれぞれの国、地域に住む人々の「価値観」をとらえるうえで最も重要なことを学ぶことができ、それこそが諸問題の解決を考えるための鍵になるのだと思います。

⑤

以上のように、貴学の政策学における理念に強く共感し、入学を志望することに致しました。

■ point の解説

①抽象的な表現だけでなく、具体的なエピソードを交えて書く

都知事主催の勉強会に参加した経験を、具体的なエピソードとして冒頭に置いたことで、インパクトのある書き出しになっています。ただ、そこで扱われたテーマについては述べられていても、実際にどんなことが行われていたのか、どんな人が発言し、どのような議論が繰り広げられたのか、ということについては、一切触れられていません。せっかくユニークな体験を持ち得たのですから、より具体的な出来事を紹介できたら良かったでしょう。

②感想だけでなく、自分の意見をしっかり主張する

台中問題に象徴的に見られるような政治的対立には、歴史的・宗教的・文化的背景があり、問題解決のためにはそのような初背景の多面的な理解が必要であるという自分の意見をしっかりと述べることができます。

③自分は何を学んでそれを今後どう活かせるか

自分の問題意識をしっかりと提示した上で、それが学科の精神や特色と合致することを指摘し、さらに学びたい科目として「比較宗教論」「比較文化論」などの具体的な名前を挙げることができます。また、そうした授業を通して得た様々な地域の「価値観」についての知識が、諸問題の解決を促すことになるという考えは、非常に論理的です。ただ、⑤で指摘しますが、そのような学習が自分の就きたい職業や将来像にどう直結するかという視点が欠けています。

④ポイントを絞ってアピールする。

先の都知事主催の勉強会への参加という事実は、大きなアピールポイントになります。ただし、①で指摘したように、勉強会における具体的なエピソードをもっと盛り込むべきでしょう。

⑤オリジナリティを出す

大学で受講したい科目名を挙げていますが、オリジナリティを出すために、特に講義を聞きたい教授の名前や、さらに言えば、その教授の著作名まで挙げることができれば、なお良かったです。（オープンキャンパスで模擬授業などを受けていれば鬼に金棒です）

また、この志望理由書は 800 字以内という規定を設けているのに対し、740 字程度しか書いていません。一応の目安とされる 9 割のラインは越えていても、試験としてその場で解くのではなく、事前に与えられた課題として書く以上、できるだけ 800 字に近づける努力をしなければなりません。

その意味でも、最後に自分の未来の夢を提示しておくべきでしょう。この志望理由書は、過去および現在の自分、そして近い未来の大学のことに関しては概ね良く書けています。しかし、それらがどのような形であなた自身の未来の夢の達成に結びついていくかのビジョンが示されていないのです。

外交問題における「表面には見えてこない背景」の理解の必要性を強調していますので、そうした「背景」について調査したり、それを踏まえて政策を立案したり、また情報を人々に伝えるといった役割を果たす職業に就くことが考えられます。

自分がどうなりたいか、どんな職業に就きたいか、という将来像を具体的に掲げることで、それまでの主張に説得力が生まれるのです。

こんな悩みを抱えていませんか？

- ✓ 勉強はやっているけど成績が伸びない・・・
- ✓ 自分に合った勉強法が知りたい・・・
- ✓ 勉強の計画だけでなく実行までサポートして欲しい・・・



その悩み、大学受験のプロである弘道塾にお任せください!!

【弘道塾の3つの特長】

1. プロによるマンツーマン直接指導

元大手予備校校長の塾長が、数学・物理・化学を個別に直接指導。

当塾は実力不問、一人ひとりの状況に合わせたスタートで、効率よく実力を伸ばします。

2. 将来を見据えた進路指導

単なる偏差値評価ではなく、生徒が将来やりたいことを見据え、医学・理・工・農・薬学部など、様々な「いきたい大学」への合格を全力でサポートします。

3. 集中できる安心・快適な環境

明るく開放的な自習専用のスペースいつでも気軽に質問・相談が可能です。駅から徒歩8分の好立地で、安全面も心配ありません。



【さらに充実のサポート】

- ✓ 教室見学は随時受付けております。
(保護者様もご同伴いただけます)
- ✓ 合格体験記を Instagram にて公開中
→ @oyama.kodojuku
- ✓ 進路相談に特に強み
(医学部・薬学部志望の方も多数相談)

【住所・連絡先】

住所 栃木県小山市駅東通り 1-7-22 海老沼ビル 2F

電話 050-3199-1755

メール kodojuku.master@gmail.com

アクセス JR 小山駅東口から徒歩8分